

ウェルビーイング
Well-being

4月中旬の休日、私は南島原市深江町にある「道の駅 ひまわり」を訪れました。前南波校長先生から、本校の前進である島原南高校卒業の野澤好夫さん(69歳)の個展(帰郷展)があることを教えていただいていたからです。野澤さんは、現在フランスに在住されており、画家として活躍中です。高校卒業後は、「芸術界の東大」と呼ばれる東京芸術大学へ進学され、同大大学院修了後はフランスへ渡仏。これまでも世界的に有名な数々の受賞歴があります。

道の駅の会場に入るなり、私は鮮やかな写真のような絵画に引き込まれました。晴れ渡る空の青、そこに浮かぶ雲の白、木々の緑・・・そのどれもに魅了されて、今なおその絵を思い出すことができるくらい脳裏に焼き付いています。野澤さんと話していると、高校時代、ご自身の好きなことに没頭されていたことを感じました。ことわざ「精神一到何事か成らざらん」(意志あるところに道ができる)を証明された偉大な先輩ですね。

皆さんもぜひ、学校の玄関にある絵画(「痕跡」1981年)、市役所西有家庁舎の野澤さんの絵画(寄贈されています)をご覧ください。

自分の人生、自分で切り開こう! 島原翔南生!



本校玄関の作品「痕跡」(1981)



故郷展(「道の駅ひまわり」にて)